

平成27年7月26日（日）13:30～18:30に
あえりあ遠野で開催しました！

メインテーマ：

コミュニティの形成

「コミュニティの形成」に関するノウハウや東日本大震災の被災地における課題について共有するとともに、来場者の皆さまとともに「次の一手」を考える会合としました。

当日は、約75団体から約130名の皆様にお集まりいただきました。

※今回の交流会の様子は協議会のウェブサイト（http://www.newtohoku.org/works_detail_012）およびFacebookページでも紹介しています。（<https://www.facebook.com/newtohoku>）

ステージ企画

～「コミュニティの形成」について考える～

イントロ・セッションと特別企画の2つのパネルディスカッションを行った後に、登壇者と来場者が交流する「交流タイム」を開催しました。来場者の皆様がパネルディスカッションと交流タイムの中で感じたことや、日頃から抱えている疑問や問題意識をもとに、「来場者との対話型セッション」を開催しました。対話型セッションを通じて、会場の皆様と東日本大震災からの復興過程におけるコミュニティ形成の「次の一手」を考えました。

イントロ・セッション 「復興過程でコミュニティをどう作るか」

まず、パネルディスカッション形式で、阪神・淡路大震災や新潟県中越地震の被災地で活動された登壇者の方々から、それぞれの取組概要についてご説明いただきました。また、公営住宅の管理、入居者の交流機会創出に向けた取組・サポート体制の重要性が示されました。



特別企画 「郷土芸能・祭りを通じたコミュニティ形成」

次の特別企画では、「郷土芸能・祭り」を通じたコミュニティ形成に取り組んでこられた登壇者の方々から、被災直後の祭り開催に対する反対意見への懸念や開催後の参加者の自信を持った姿など、現場の生の声をトークセッションでお伝えいただきました。



～参加者の声～

祭りの開催に躊躇していましたが考え方を整理できました。

来場者との対話型セッション

最後に、これまでの議論を踏まえて、来場者の方々から出てきた質問や意見について、登壇者の方々と議論をしていただきました。新たなコミュニティの中で「伝統芸能・祭り」をどのように活かすか、公営住宅を誰がどのように管理・運営することが有効か、といった議論がなされました。

また、次の一手を考えるためには、官・民での連携や他地域の民間間での交流など、違う背景や魅力を持った人と情報交換や議論をすることで多種多様なノウハウをつないでいくことが有効とのご発言がありました。



～参加者の声～

実際に震災復興に取り組んでいる方々の意見を聞き、交流の重要性を再認識しました。

※ご登壇いただいた皆様のお名前は、裏面に掲載させていただいております。

オープニング

冒頭に岡本復興庁事務次官から挨拶があり、続いて大友岩手県復興局副局長、本田遠野市長よりご挨拶をいただきました。



ステージ企画 ご登壇者の皆様

【登壇者】

小林 郁雄 氏 (人と防災未来センター 上級研究員)

阿部 巧 氏 (公益社団法人中越防災安全推進機構 ムラビト・デザインセンター センター長)

東梅 英夫 氏 (白澤鹿子踊り保存会 会長)

小岩 秀太郎 氏 (公益社団法人全日本郷土芸能協会 事務局次長)

岩手県大船渡市/釜石リージョナルコーディネーター協議会(釜援隊)/宮城県亘理町
自治体版ハンズオン支援(岩手県久慈市/宮城県塩竈市/福島県郡山市)

【ファシリテーター(兼登壇者)】

本多 史郎 氏 (公益財団法人トヨタ財団 プログラム・オフィサー)

ブース出展

コミュニティの形成に関わる取組を行っている団体を中心に、下記の20団体によるブース出展が行われました。

《ブース出展者》

◆コミュニティの形成、高齢者のコミュニティ活動

- ・ NPO法人美しい街住まい倶楽部
- ・ 岩手県大船渡市
- ・ 釜石リージョナルコーディネーター協議会
- ・ NPO法人カリタス釜石
- ・ 独立行政法人都市再生機構
- ・ 公益社団法人日本栄養士会
- ・ 一般社団法人日本カーシェアリング協会
- ・ NPO法人りくカフェ

◆移住・定住促進、交流人口拡大

- ・ NPO法人wiz
- ・ 岩手県久慈市
- ・ 一般社団法人SAVE TAKATA

～出展者の声～

私たちの支援事業の活用可能性について他の出展者と意見交換ができました！



◆自治体・支援団体

- ・ 岩手県
- ・ 公立大学法人岩手県立大学
- ・ 国立大学法人岩手大学
- ・ NPO法人いわて連携復興センター
- ・ 国立研究開発法人科学技術振興機構
- ・ NPO法人全国コミュニティライフサポートセンター
- ・ 岩手県遠野市
- ・ 株式会社日本政策金融公庫 国民生活事業
- ・ 文化芸術による復興推進コンソーシアム

～出展者の声～

同じ分野で活動されている団体の方と意見交換することで、今後の自団体の取組について具体的なアイデアを得られました！



パネル展示

被災地の現状や会員の皆さま、復興庁事業に参画されている皆さまが被災地で行われている「新たな挑戦」や復興支援活動を紹介するパネルを展示しました。

～ご協力・ご来場いただいた皆さま、ありがとうございました～

お問い合わせ

※ 当交流会の開催については、復興庁からみずほ総合研究所へ委託しています。

新しい東北

検索

f いいね!

「新しい東北」官民連携推進協議会事務局 (みずほ総合研究所) 岩城・水野

E-mail: nt-info@mizuho-ri.co.jp TEL: 03-3591-8773 (平日9:30~17:30)

WEBサイト: <http://www.newtohoku.org/>

Facebook: <https://www.facebook.com/newtohoku>

主催:



官民連携推進協議会 (事務局: 復興庁)

